

discover a whole new world

vol.4

枚方市立中宮中学校英語科通信

17 October 2017

「英語」で話すこと(目標と評価)

～Can-Do リストで示している目標とは?～

第2号で、Can-Do リストを公開しましたが、あまり読んでいない人はいないようですね。情報をしっかりとキャッチしましょう。

さて、今日は「話すこと」の目標と評価について話をしておきましょう。各学年の目標は右の表のとおりです。まず、今年から話すことにおいて2つの観点ができました。

1つ目は“Production”です。日本語にすると、“生産や産出”という意味ですが、主に『スピーチ』の評価になります。

2つ目は、“Interaction”です。これは、“やりとり”と訳せるでしょうか。一方通行の『スピーチ』に対して、『やりとり』は、聞いて、答えるという即興性が必要になります。

さて、2つの違いとポイントを見てみましょう。

スピーチは、準備ができるものです。ポイントは、2つ。1つ目は、「人前での練習を重ねること」です。人に伝えるのがスピーチですから、友だち何人かにみてもらうのがポイントです。もう1つは、「人からのフィードバックをもらうこと」です。1年生や3年生のスピーチ発表の前には、放課後練習会を約2週間に渡って行いました。申し込みをすれば、English Roomにいるアンディーや英語の先生に、原稿作りのアドバイスや発音、イントネーション、英語らしい読み方をアドバイスしてもらえるようにしました。3年生はたくさんの方が訪れ、とても良い原稿で発表をしてくれた人がたくさんいました。スピーチは準備で決まるといっても過言ではないでしょう。

さて、“やりとり”はどうでしょうか?先日、デイサ先生の2年生の授業を見学しましたが、2人が向かい合って英語を話していました。何度も何度も繰り返すことで、反応の仕方などを学んでいました。1年生の英語Bの授業では、あいづちの打ち方を勉強しました。やりとりについては、普段の英語の授業のペアワークやグループワーク、英語Bの授業のAndyとのやりとりの延長線上のことになりますよね。ポイントは、普段のペアワークやグループワークで日

本語を使わずにコミュニケーションをとることと、Andy を見つけては、話しかけるということです。何回も繰り返して学習することが重要です。

	1年	2年	3年
話すこと 【Production】	①簡単な語彙や表現を用いて、日常の出来事や、思い出について、30words 程度の原稿を 60wpm 以上のスピードで発表することができる。	①それぞれの題材に沿った 40words 程度の原稿を意味のまとまりに気をつけながら、70wpm 以上のスピードで発表することができる。	①自分でテーマを選択し、作成した 50words 程度の原稿を、意味のまとまりに加え、英語らしい発音で 80wpm 以上のスピードで発表することができる。
話すこと 【Interaction】	①簡単な語彙や表現を用いて、自分自身の気持ちや感情を相手に伝えることができる。 【例： How are you? I'm fine.】	①さまざまな話題について、聞き手に分かりやすく情報を伝えることができる。 ②身近な話題について問答できる。	①問答や意見交換など、端的な解答にとどまらず、つなぎ言葉を使うなどして、会話を続けることができる。 ②さまざまな話題について、聞き手の様子に合わせて表現を工夫できる。

表の中に出てくる 60wpm の wpm は、Words Per Minute の頭文字です。1 分間に何語話せるかということです。大体、英語母語話者の会話スピードは、1 80wpm といわれています。

「2017 年度英検第 2 回」

第 2 回の英語検定は、2 学期始まってすぐ申込み開始になります。申込書は、1 学期中に配布します。学校内の申込み〆切は、9 月 8 日(金)です。中宮中学校では、難易度の高い英検級取得(準 1 級・2 級)や TOEFL iBT 60 点・IELTS 5.5-6 を目指す放課後勉強会も実施しています。詳しいことは英語の先生まで。